

習志野 ずっと住みたい まち計画

県政編 No.3 「8 本柱」

～取り組みたいこと～



▲ 県防災倉庫の市内内陸部への移設
(埋立地域かつ河川氾濫浸水想定区域に現存)

迅速な災害対応
と危機管理



▲ 上水・下水道管の耐震化工事の促進
(緊急連絡管路の耐震化も含む)



▲ 習志野特別支援学校中学・高等部の設置
(あきらめません、市内での設置)

高齢者・障がい者・
児童福祉



▲ 高齢者グループホームと子育て施設の併設
(高齢者介護や児童一時保護施設の整備)



▲ 幼児教育期における自然体験の推進
(感性を育てる体験機会の増進)

元気な子ども
づくり



▲ 学校給食費無償化の制度拡充と
千葉県産食材の利用促進(千産千消)



▲ 旧県職員住宅跡地(泉町約8,654㎡)
(毒ガス弾存在等の土壌調査の促進)

県有地の
有効活用



▲ 菊田川河口の遊休地(茜浜約9,000㎡)
(多目的グラウンド、ドッグラン、スケードボード施設など)

明日への架け橋

今後の課題

1 東京湾をきれいに守る

- 海水質酸素の影響で魚介類が死滅する青潮対策
- 海岸漂着物(テトラポット内の滞留物)の撤去による海洋プラスチックのゴミ対策
- 谷津干潟の海水交換通路(国道357号線下の3水路)の補修工事による悪臭対策

2 直下地震・集中豪雨の減災

- 市道の緊急輸送道路の円滑交通(防災拠点アクセス道路)―無電柱化の着手(国道14号「市」3・3・3号線「市役所経由道路」)
- 停電時自動発動装置付の信号機の設置による減灯対策
- 市内3河川の氾濫被害軽減―①「危機管理水位計」と「河川監視カメラ」設置 ②川の水位情報サイト」の周知徹底
- 上水道の災害対策―①埋立地域や重要給水施設・病院・避難所・市役所・福祉施設に繋ぐ水道管の耐震化 ②水道施設(取水・浄水・給水)の非常用電源の継続稼働時間(72時間の確保と燃料補給体制の強化 ③取水場(利根川)「浄水場(花見川区)の導水管(約26km)の新設工事の促進
- 下水道の災害対策―①「県」花見川第二終末処理場内(芝園)の汚水処理機能施設の耐震化 ②「市」下水幹線管路と「県」下水幹線管路を接続する災害時緊急連絡管路の整備
- ③「県」花見川第二終末処理場(芝園)と「県」花見川終末処理場(磯辺)を接続している災害時緊急連絡管路(磯部幹線の水管橋)の耐震化
- 土砂災害の被害軽減―新たな災害警戒区域の早期指定とハザードマップへの反映
- 地域防災力の向上―市や自主防災組織の実情に応じた避難所環境・避難誘導などに資する防災資機材の購入補助

3 女性活躍を推進する福祉・医療・子育て

- 介護士・保育士の給与増など処遇改善
- 訪問看護等「在宅医療従事者」の拡充
- 産前・産後ケアの継続支援―出産準備クーポン支給や家事支援・保健師・助産師の自宅訪問面談など妊婦や新生児の母親支援の補助(妊娠2歳)
- 産後うつ・虐待予防の強化―産後健康診査の受診医療機関の県による広域連携委託



4 教育環境の進化

- 県立高等学校のデジタル人材の育成―必修新科目「情報」の質の高い授業展開に向けた「T」指導の外部講師の活用(専門教員不足の補充)
- 教員の負担軽減・多忙化解消―義務教育期間(小・中学校)の教職員(採用・人員配置は県の役割)の正職教員の確保とスクールサポート・スタッフ(教員補助員)の配置拡充
- 特別支援・通級学級生徒の教育環境の充実―生徒数の増加傾向に伴う専門免許取得教員と経験者の増員配置
- 言語文化指導者の拡充―日本語を母国語としない児童生徒への学習支援者の増員配置
- 市内県立学校の環境整備―(県)津田沼高校(市指定避難所)の大規模改修工事

5 未来へのまちづくり構想

- 鷗沼特定区画整理事業の確実な着工・完成―(国・県事業に係る行政による予算補助)
- 香澄地区の人口増加策―市営・県営住宅・県警宿舍の一体的な建替え
- 市内経済の発展・活性化―①成田空港「羽田空港の鉄道・高速道路の沿線立地を活かした地元特産物ふるさと産品の外国人観光客への販路拡大
- ②「県」遊休地の利活用の促進(旧県職員住宅跡地「泉町2・3丁目」)
- 国際競争力・住宅都市の利便性に資する鉄道整備―JR京葉線・りんかい線相互直通運転(海浜幕張駅・新習志野駅・新木場・大崎・渋谷・新宿などの直通運転)
- 円滑な物流体制を支援する道路対策―県内農産物・海産物の「高鮮度」供給や港湾輸出入品の円滑輸送の向上①京葉道路の渋滞対策 ②第二湾岸道路の早期具体化

6 市の持続可能な行財政運営

- 下水道処理機能の県との広域化・共同化―(市)津田沼浄化センター流入の汚水・雨水処理を「県」花見川第二終末処理場での共同処理
- 市町村の技術士不足の補充対策
- (公共施設の)建替え・長寿命化における技術支援に向けた
- (仮称)千葉県技術士共同事業団」の創設

これから取り組みたいこと



引き続き、「習志野 ずっと住みたい まち計画」をスローガンに、世界一の都市創造に向けた一環「市民の命を守るまちづくり」に向けて活動していく所存です。皆様のご指導を宜しくお願い致します。

伊藤 寛

習志野 ずっと住みたい まち計画 (県政編)

教育・子育て環境

学校ICT(情報通信機器)授業の環境整備

警察による通学路の犯罪抑制

小児の夜間医療の充実

駅前・商店街への保育所整備

自然災害への備え

県防災倉庫の備蓄品の充実

冠水箇所の改善

水道管の老朽化対策

市内3河川の水門及び排水施設の設置



障がい者の家族の安心

県立特別支援中学・高等学校の誘致
特別支援・

通級学級教諭(免許所有者)の増員
グループホーム(共同生活援助)の整備
就労継続企業の拡充

高齢者の安心

夜間対応型の在宅介護の整備
グループホームの整備
介護士の確保と処遇改善
在宅医療の推進

都市と自然の共生

都市計画道路の早期開通
団地再生・活性化
谷津干潟の悪臭改善
農産品の海外販路の促進

さらに、下記の経験をしたことにより、

より市民の皆様に寄り添う政策を提案します

1. 東日本大震災での被害と、災害対応に対する県の遅延
2. 現役・子育て世代であり、妻の妊娠・育児
3. 祖母の認知症介護に苦しむ、両親との同居